



生徒が主役の部活動

Q 生徒が主役の部活動の在り方とは

たきしま まさのり
瀧嶋 正紀 議員



A 部活動の教育的意義、役割を継承し、発展させる

問 部活動改革の方策検討状況について。

答 部活動は、教育課程外ではあるが、教育的意義の高い活動である。現在、国や県では、学校部活動の地域クラブ活動への移行を推進するための実践研究を実施している。成果や課題を踏まえ、部活動改革の方策の更なる検討が必要であると認識している。

問 令和5年度の熱中症対策及び効果は。

答 各学校で、チェックリスト及び熱中症計を有効に活用し、予防に取り組んでいる。熱中症対策を徹底した効果として、部活動中の熱中症による救急搬送事案がなかった。

問 部活動の地域クラブ活動移

行後の目指す姿とは。

答 少子化が進み、これまでと同様の規模で部活動の運営が大変難しくなってきたことや、学校における働き方改革が進む中で、教師が顧問を務める指導体制の継続が大変難しくなっている現状がある。地域の人材をしっかりと活用し、これから先、移行に向かって、生徒がスポーツや文化芸術に継続して親しめるような環境を整え、自己実現ができるよう、生きる力に結びつけていきたい。

Q 鶴ヶ島駅周辺まちづくり構想の成功を！

むらかみ しんきち
村上 信吉 議員



A 好循環を呼び、市の成長力の維持をめざす

問 賑わいのある商店街での市民交流について。

答 無電柱化などによる良好な景観形成と、イベントの開催支援などにより市民の交流を促す。

をはじめ、健康づくりやコミュニティ活動の促進を図る。また、自治会や関水金属などの連携によるイベントを開催し、交流機会を創出したい。憩いやにぎわいの交流拠点として、市民や地域団体が主体的に活動・活躍できる環境を整えていく。

問 ガーデンパークでの賑わい創出について。

答 ナチュラルガーデンの育成を通じた市民の生きがいづくり



ガーデンパーク完成イメージ図

流施設について。

答 南市民センターを鶴ヶ島文化会館の敷地に移転し、地域交流施設として整備する予定である。新施設は多様なニーズに対応するため、市民や関係団体の意見を伺いながら検討していく。

問 鶴ヶ島駅周辺まちづくり構想の将来展望について。

答 「歩きたくなるくつろぎとにぎわいのまち」として、市の成長力や活力を維持する地方創生につながるよう取り組む。

◎**その他の質問** 子育てと教育を鶴ヶ島市の魅力として発信するために